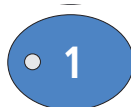


6.2 パージ/自動パージ-機能 (水経路の洗浄)

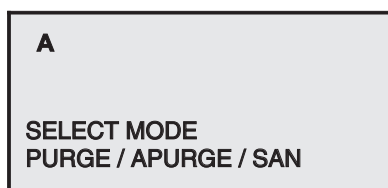
PURGE- 機能



(ドクターユニットのみ)

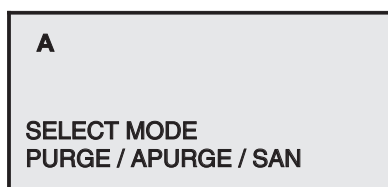
パージ機能によって水経路が洗浄されます。

治療器具全てを収納した状態で**クイックセッティングキー 1** (> 3 s) を押します。

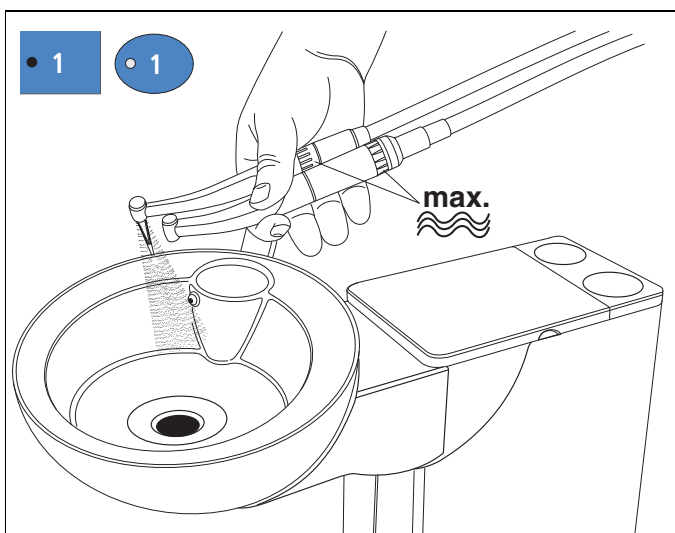


PURGE (パージ) / APURGE (自動パージ) または **SANIERUNG (衛生処理)**¹ の選択を促す要求が表示されます。

— または + キーで **PURGE** を選択します。PURGE が点滅していることを確認してください。



クイックセッティングキー 1 を短時間 (3 秒以上) 押すと、治療器具が収納されている場合には、次の要求が表示されます：



洗浄を行うための器具を取り出し、カスピッドゥボウルの上で保持して下さい。

治療器具の射出水量は**最大**に設定します。

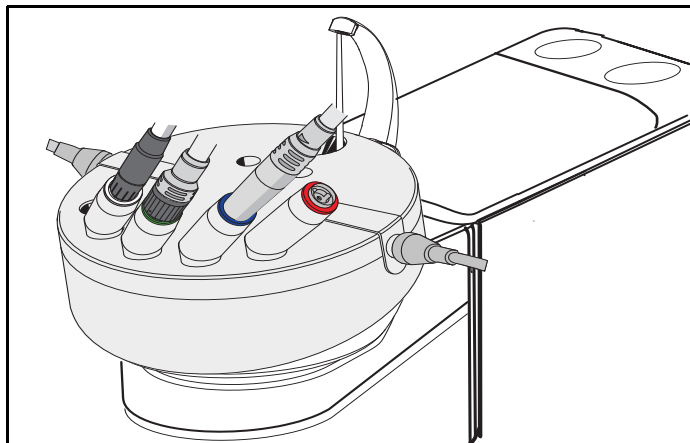
クイックセッティングキー 1 を再び押すと (< 3 s)、治療器具が次々に洗浄されます。

事前にモードダイアログで秒単位で設定した洗浄時間が、各器具で個別に実行されます。

最後の器具が洗浄されるとブザー警報音が鳴ります。

最後にホルダーに器具を再び収納してください。

1. **SANIERUNG (衛生処理)** 機能については「ユーザーによる手入れおよび洗浄」の説明を参照して下さい。



■ 自動パージ (APURGE) - 機能

自動パージ機能で、ドクターユニット、助手用 Sprayvit、コップ給水装置の導水器具の洗浄を自動実行することができます。

APURGE を有効にすると、衛生容器に差し込まれている器具の洗浄が行われます。治療用シートの電源を切った後に器具が衛生容器に残っていると、治療用シートの電源を次回入れたときに洗浄プロセスが自動的に再スタートします。

以下の場合に APURGE 機能の使用をお勧めします：

表 t 営業日の仕事開始前と終了時の APURGE 機能：

作動後、洗浄サイクルが一括で実行されます。器具が衛生容器に残っており、治療用シートの電源を切ることができます。翌日、治療用シートの電源を入れると、衛生容器に残っている器具（コップ給水装置も含む）で APURGE 機能がすぐに自動実行されます。

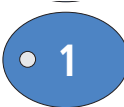
この自動実行の終了後、診察日に備えて治療用シートの準備を行うことができます。

表 t 停止時間が長く続く場合の APURGE 機能：

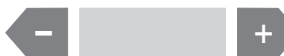
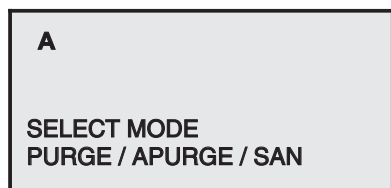
作動後、洗浄サイクルが一括で実行されます。器具が衛生容器に残っており、治療用シートの電源を切ることができます。

この状態で、毎日、治療用シートの電源を一瞬入れ、洗浄プロセス終了後に電源を切ることができます。

APURGE 機能を調整する

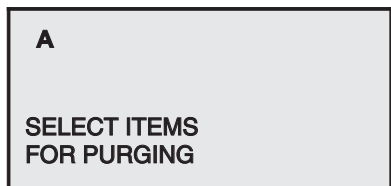


すべての器具を収納した状態で、クイックセッティングキー 1 (3 s) を押し続けて選択ダイアログを有効にしてください。



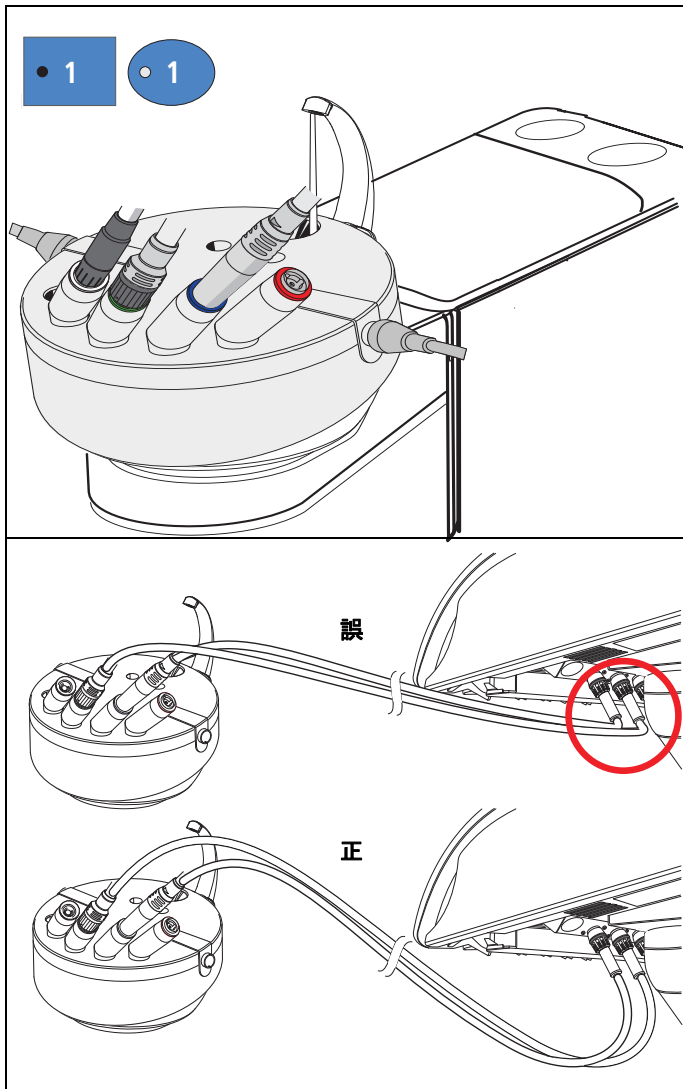
PURGE (パージ) / APURGE (自動パージ) または SANIERUNG (衛生処理)¹ の選択を促す要求が表示されます。

－または＋キーで APURGE を選択します。APURGE が点滅していることを確認してください。



クイックセッティングキー 1 を短時間 (3 秒以上) 押すと、治療器具が収納されている場合には、次の要求が表示されます：

1. SANIERUNG (衛生処理) 機能については「ユーザーによる手入れおよび洗浄」の説明を参照して下さい。



洗浄を行うための器具をドクター/助手用ユニットから取り出し、衛生容器のアダプターにストップ位置まで挿入してください。

⚠ 注意

器具を挿入する際は、器具用ホースが折れ曲がらないよう注意してください。

治療器具の射出水量は**最大**に設定します。

クイックセッティングキー 1 を再び押しすと (< 3 s)、治療器具が次々に洗浄されます。

事前にモードダイアログで秒単位で設定した洗浄時間が、各器具で個別に実行されます。

最後の器具が洗浄されるとブザー警報音が鳴ります。

この状態で、以下の作業を続けて実行することができます：

表 t 器具は衛生容器に残っています：

治療用シートの電源を入れると、すぐ器具が洗浄されます。その後、治療用シートの電源を再びオフにします。

APURGE 機能は引き続き有効になっています。

表 t 器具を再び収納する：

診察日に備えて治療用シートの準備を行うことができます。

APURGE 機能は終了しています。

APURGE 機能の中断

洗浄プロセスは次の要領で中断できます。

表 t 強度キー 1) を 3 秒以上押しします。

或いは

表 t 器具の収納

6.3 サニテーション

サニテーションの周期

サニテーションは4週間毎に行ってください。又は、病原菌数が1 ml 当たりで明らかに100個を超えた場合もサニテーションが必要です(6.1「水中の細菌点検」の項を参照)。このようにすると、給水経路における微生物を効果的に殺菌できます。

追加装置に対する特殊処理

チェアーのメディアブロックに接続する追加装置には、高濃度(1.4%)の過酸化水素を混合した蒸留水を流してサニテーションを行います。

拳境

接続装置が高濃度溶液サニテーションに適しない場合は、サニテーション実行中は追加装置を治療ユニットから分離してください。追加装置自体のサニテーションはメーカーの指示に従って別途に行います。

準備

サニテーションの準備には約10分かかります。

表 t ドクターユニットのディスプレイで **DESINF** が点滅する場合は、先ず **DENTOSEPT P** を1リットル充填してください(使用説明書参照)。

充填後は **DESINF** の点滅表示がディスプレイから消えます。

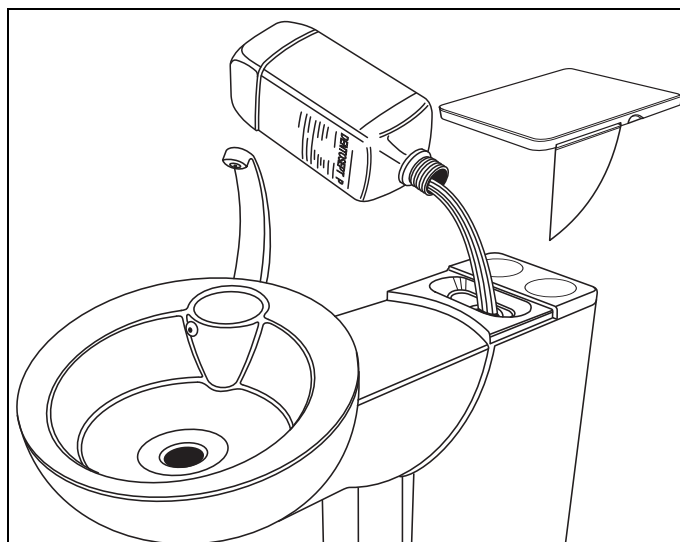
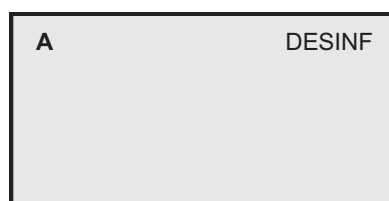
再注文用:

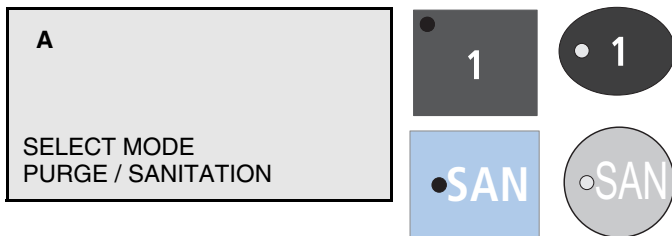
DENTOSEPT P 1カートン = 6x1 リットル、
注文番号 33 18 156

カナダ / 日本向けのみ: 1カートン = 6 x 1 リットル、
注文番号 59 69 535

表 t ドリルドライブおよびシロソニック L では全て、**水の流量を最大**に設定してください。上記の点はサニテーションを行う前に確認してください。

表 t その後、治療器具および吸引ホースを全て所定のホルダーに収納してください。





サニテーション

サニテーションはドクターユニット又はアシスタントユニットで操作します。

括弧内の記述は、アシスタントユニットにおける各操作を示しています。

該当する図の左のキーブロックに C2⁺ が、右のキーブロックに M1⁺ キーが表示されています。

表 t **強度キー 1** を > 3 秒間押します。
(アシスタントユニット: **SAN** キーを > 3 秒間押します)。

BITTE AUSWAEHLLEN (選択してください) が表示されます。

表 t ? / + キーで **SAN** 選択します。

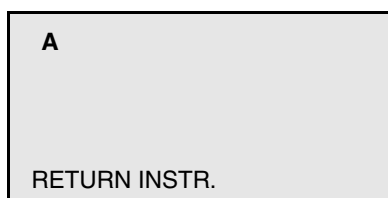
表 t **強度キー 1** を短時間押してください (アシスタントユニット: **SAN** キーを短時間押します)。

アシスタントユニットで **SAN** キーの LED が点灯します。



注意

上記の操作は、**DENTOSEPT P** が補充容器に十分に充填され、治療器具が全てホルダーに収納されている場合にのみ可能です。



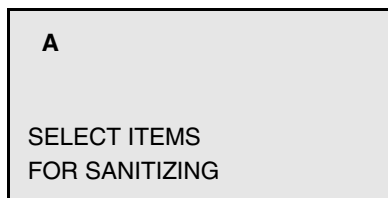
エラーメッセージ

治療器具が収納されていない場合には、**RETURN INSTR.** 器具を収納してくださいのメッセージが現れます。治療器具が正しく収納されているか確認してください。

予備タンク内の **DENTOSEPT P** の容量が不足すると、**DESINF** 表示が点滅します。補充してください。

上記どちらの場合も更に信号音が 5 回鳴ります。

サニテーション処理中は各操作 (ステージ) がディスプレイに表示されます。



サニテーションステージ 1:

ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。

SELECT ITEMS FOR SANITIZING

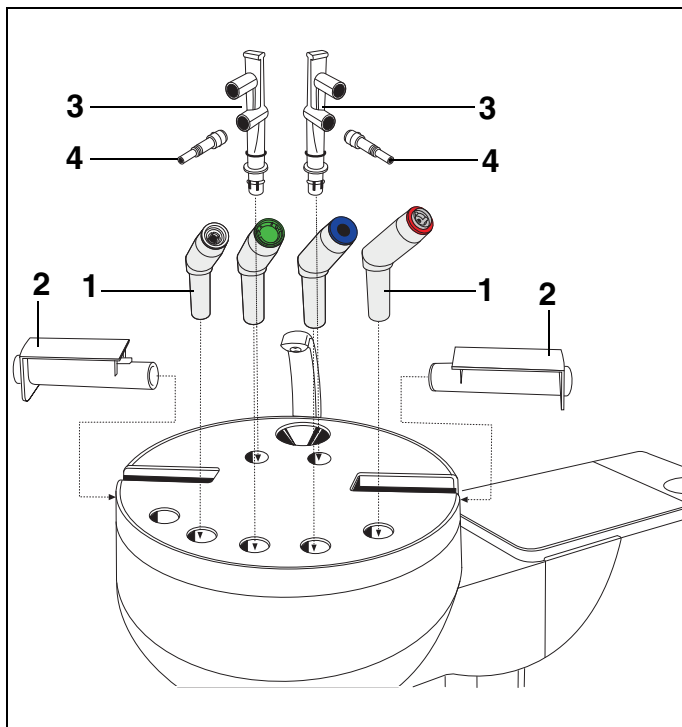


表 t サニテーションフードをカバーと一緒にカスピ
 ドゥボウルにセットします。

サニテーションフードの容器は常にきれいな状態
 でなければいけません!

表 t 治療器具カップリングの洗浄アダプター (1)、ス
 プレービットのバルブヘッド (2) および吸引ホース
 (3) は図示通りに、サニテーションフードに止まる
 まで差し込んでください。

治療器具カップリングのアダプターはホースカッ
 プリングと同様にマーキングが施されています。

治療器具	色
SL- モーター	緑
インタフェースを装備した電動モ ター。EL 1 モーター同様 ISO 3964 準拠	青
タービン	白
シロソニック L	赤

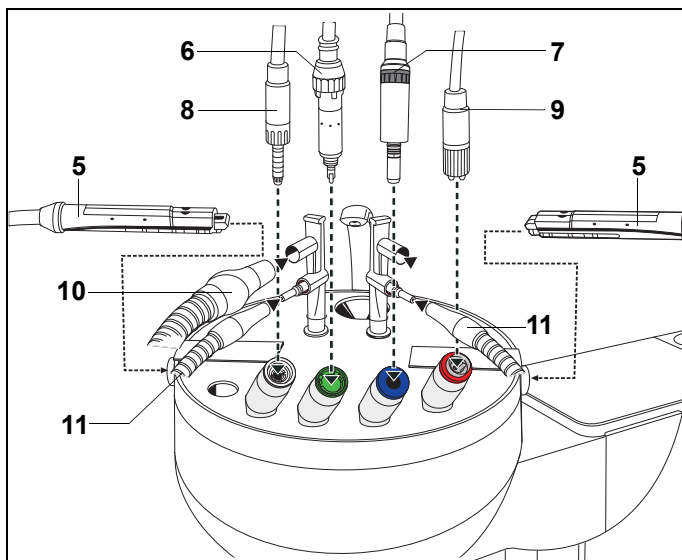
表 t サライバエジェクターのホースには、アダプター
 ピース (4) を洗浄アダプターに差し込みます。

i 旌娜

ホースのねじれを防ぐため、洗浄アダプターの配置は
 左から右に向けてドクターユニットの治療器具に対応
 させます。

! 拳境

器具を挿入する際は、器具のチューブが折れ曲がら
 ないように注意してください。



給水経路のサニテーションは原則として治療器具が差
 し込まれていない状態でを行います!

表 t 治療器具をカップリングから外し、スプレービ
 ットのスリーブをバルブヘッドから抜き取ります。

表 t 左右のドクターユニットとアシスタントユニッ
 トのスプレービットのホースをバルブヘッド (5) と一
 緒に、止まるまでアダプターに差し込みます (バ
 ルブレバーは上向き、ロックボタンは下向き)。

表 t 以下のカップリングを同色でマーキングされた対
 応アダプターに止まるまで、或いはカチッと音が
 するまで差し込みます。

暴 t SL- モーター (6)、

暴 t インタフェースを装備した電動モーター。
 EL 1 モーター (7) 同様 ISO 3964 準拠

暴 t タービン (8) および

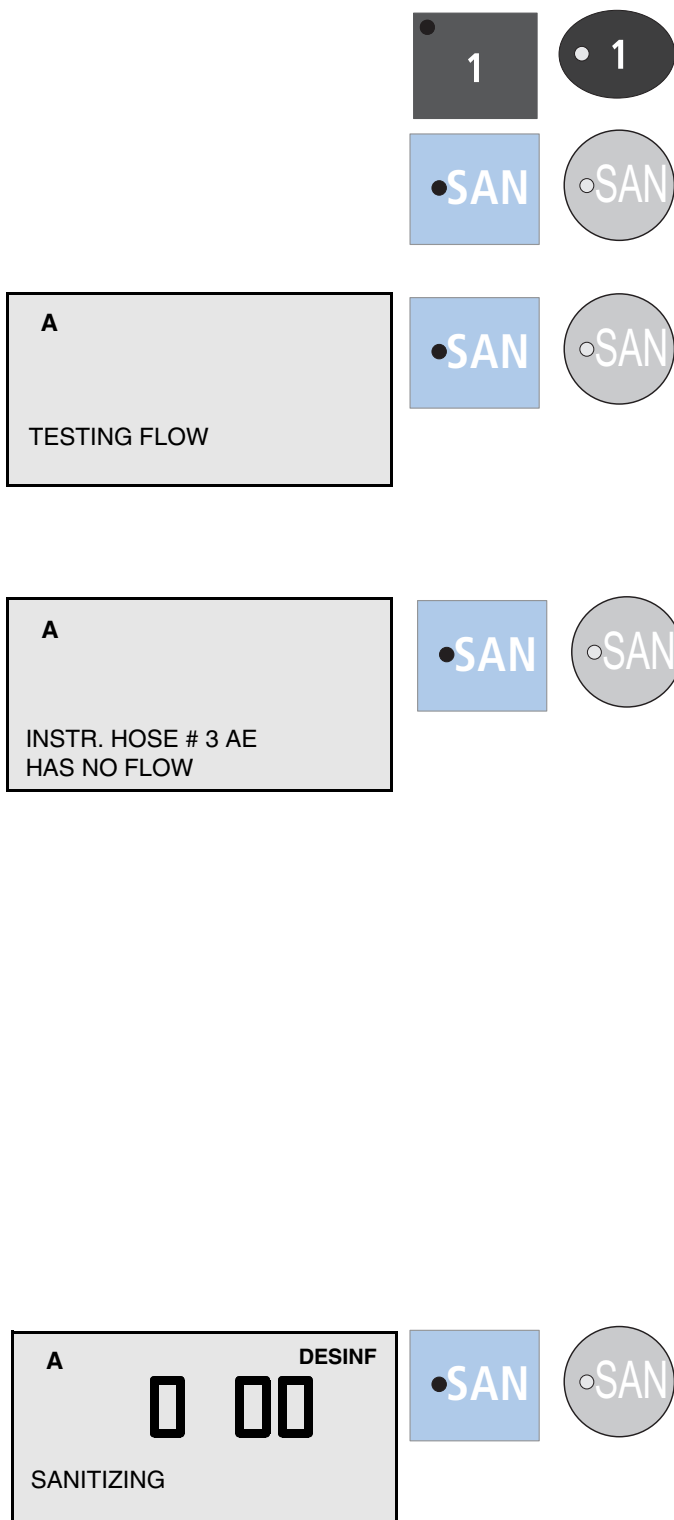
暴 t シロソニック L (9)

治療器具ホースのマーキングリングはユニオン
 ナットに施されています。

表 t 吸引ノズルを抜き取ります。

表 t 吸引ホース (10) およびサラエバエジェクターホース、更に第 3 吸引ホース (11) (装備されている場合) を洗浄アダプター (3) の側面に差し込みます。

サニテーションフードの準備が完了した後で、**強度キー 1** を短時間押ししてサニテーションを開始します (アシスタントユニット : **SAN** キーを短時間押します)。



サニテーションステージ 2:

まず治療器具カップリングに水が流れていることを確認してください。

この間、アシスタントユニットの **SAN** キーがほぼ 1 秒間に 1 回点滅します。

引き出していない、或いは水が流れていない治療器具は、サニテーションの対象になりません。

サニテーションステージ 2 におけるエラーメッセージ

水が流れていない場合は、シグナル音が鳴り続き、ディスプレイには水流のない治療器具が表示されます。治療器具の番号はホルダーの左から右に向けての通し番号です。

治療器具ホルダーはドクターユニットでは **AE**、アシスタントユニットは **HE** と表示されます。

アシスタントユニットでは **SAN** キーが 1 秒間に約 4 回点滅します。

この場合は、該当治療器具のカップリング部分にある水量調整装置を開いてください。その際、該当治療器具はアダプターに差し込んだままにしておきます。システムが水量を感知した段階で、サニテーションは自動的に続行されます。

シグナル音が鳴った後で、水量調整装置を開かずに**強度キー 1** を短時間 押した場合は、サニテーションプログラムは続行し、該当の水経路はサニテーションされません (アシスタントユニット : **SAN** キーを短時間押します)。

サニテーションステージ 3:

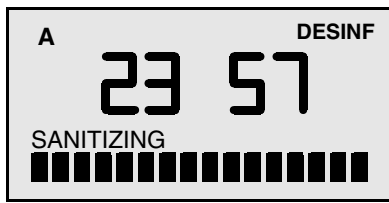
この後、ウォーターユニットの給水タクからコップ給水ノズルを経由して水が汲み上げられます。

サニテーションステージ 4:

引き続き、DENTOSEPT P がウォータータンクに自動的に充填されます。

アシスタントユニットの **SAN** キーが点灯します。

これによって、治療器具のホース、スプレットのホース、コップ給水ノズルが清浄されます。



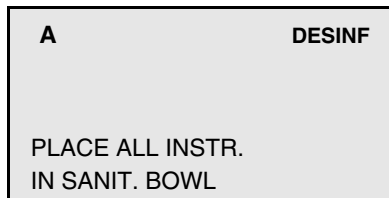
サニテーションステージ 5:

☑ この段階に至ると、ディスプレイに作用残り時間が表示されます。図示の例では **23 時間 57 分**。

表 t この後、**最低 24 時間、但し最高でも 3 日間** (サニテーションの**限度時間**) ユニットの電源スイッチをオフにしておきます。治療器具は全てそのままアダプターに差し込んでおきます。

⚠ 注意

サニテーションステージ 5 終了後に、治療ユニットの水やエア供給を遮断した場合は、再び治療ユニットを使用する前、つまり 24 時間経過後に水およびエア供給系を再び開いてください。その後でユニットに電源を入れます。但し、治療器具はサニテーションフードのアダプターに差し込んだままにしておいてください。



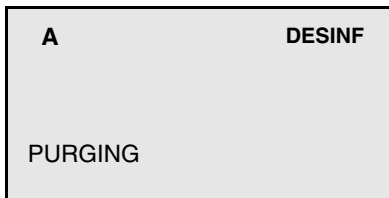
最低のサニテーション時間が終了し、最高静置時間が経過した後で、ユニットを再び ON にしてください。

一つの治療器具が不正にホルダーに戻された場合は、次のようなメッセージが表示されます：

PLACE ALL INSTR. IN SANIT. BOWL.

サニテーションプログラムは自動的に最後まで動作します。

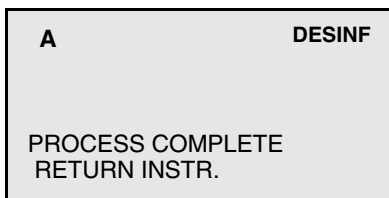
24 時間経過しないうちにユニットにスイッチを入れなければならない場合は (欠落時間はディスプレイに表示されます)、ユニットのスイッチを入れてから、**集中キー 1** を 3 秒以上に押さなければなりません (アシスタントユニットの場合は **SAN** キーを 3 秒間押します)。スイッチを押すと、サニテーションが中断します (6.3 参照)。その後サニテーションプログラムは最後まで動作します。



サニテーションステージ 6:

治療器具のホース、スプレービットのホースおよびコップ給水ノズルが再び水で清浄されます。この操作には数分かかります。

☑ この間アシスタントユニットの **SAN** キーが点滅します。



ディスプレイに以下の表示が出た時点で

PROCESS COMPLETE

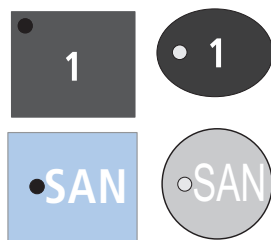
RETURN INSTR.

治療器具は再びホルダーに収納可能です。

ユニットは再び使用可能状態になります。

i 注意

ウォーターユニットにアシスタントユニットがない場合、洗浄プロセスが実行されずに、メッセージが表示されるまで、約 90 秒かかります。



サニテーションの中断

サニテーションはどのステージにおいても強度キー 1 を 3 秒間以上押すことで中断可能です (アシスタントユニット: **SAN** キーを 3 秒間押します)。

サニテーションステージ次第では、既に記述した様に、サニテーションが直ぐに終了したり、或いはホースが水で清浄されます。清浄処理後、治療器具をホルダーに収納すると、ユニットは作動状態になります。